

1. 理事会からのお知らせ

(1) 代表理事挨拶

TCER フェローおよび関係者の皆様方には日頃より TCER の活動にご支援とご協力をいただきまして、心よりお礼申し上げます。本年 5 月 28 日に開催されました評議員会及び理事会でご承認をいただき、TCER 代表理事に就任いたしました小林慶一郎です。前任者の小川英治一橋大学教授から引き継いで、代表理事を務めることになりました。同時に、幹事校が一橋大学から慶應義塾大学に移ることとなり、代表理事代理業務執行理事に坂井豊貴慶應義塾大学教授が、また、会計・研究会担当業務執行理事に寺井公子慶應義塾大学教授が就任いたしました。TCER の一層の発展と TCER におけるより良い研究環境の構築のために全力を尽くしていく所存でございます。

前執行部から引き継ぎました以下の事業を推進していきます。

第一に、国際学術コンファレンスを開催し、世界の第一線の研究者とわが国の気鋭の研究者との研究交流を推進しています。その一つとして TCER が全米経済研究所(NBER)と欧州経済政策研究センター(CEPR)と TRIO コンファレンスを毎年共催して、欧米を代表する研究者とともに研究成果を発表しています。2019 年度は「金融システム Financial System」をメインテーマにして開催されました。報告論文は国際学術誌 Journal of the Japanese and International Economies に刊行予定です。また、TCER が NBER と共催して毎年開催している東アジア経済セミナー(EASE)がバンコク(タイ)で開催されました。さらに、環太平洋地域研究交流事業はアジア太平洋地域の研究者との研究交流の場として毎年アジア太平洋地域で APEA コンファレンスが開催されます。2019 年度には福岡大学七隈キャンパスで開催されました。1963 年度以降開催されている TCER コンファレンス(旧逗子コン)が日本経済・世界経済を取り巻く重要なテーマを取り上げて継続しています。2019 年度は 2018 年度に引き続き「EBPM の経済学:エビデンスに基づく政策立案の展望」と題して実施されました。

第二に、学術研究交流促進事業では、定例研究会が 2019 年度においては一橋大学で開催され、理論、政策、実証分析の広い範囲に及ぶ新しい研究成果が発表されました。また、マイクロコンファレンス、マクロコンファレンス、若手研究者が報告するジュニアワークショップを開催しています。さらに、TCER 産学連携セミナー事業として同友会 TCER セミナーが 2019 年度に 7 回開催され、TCER メンバーが実務家と意見交換をする場として、大きな役割を果たしています。

第三に、経済学に関わる理論・実証面での萌芽的研究を支援することを目的として、TCER フェローに限らず広く一般の研究者による優れた個別研究プロジェクトに対して研究助成を行っています。2019 年度には、3 件の研究プロジェクトに助成しました。

本年、突如として発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的な感染

拡大によって、世界経済及び日本経済は、歴史的な危機を迎えています。TCER は、経済学のアプローチから、COVID-19 が世界経済及び日本経済に与える影響や、経済政策による対応の在り方、さらに、その他の経済的諸課題について研究を行い、その研究成果を知見として蓄積し、世界経済及び日本経済の問題解決に貢献することをめざして、活動していく所存でございます。皆様におかれましては、引き続き TCER の活動にご支援、ご協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年9月 小林 慶一郎（代表理事・慶應義塾大学）

（2）新理事・監事一覧

2020年5月28日（木）をもって昨年度までの理事・監事の任期が満了し、以下の方々（敬称略）が理事・監事に選任されました。

理事

小林 慶一郎	東京財団政策研究所 兼 慶應義塾大学	[代表理事]
坂井 豊貴	慶應義塾大学経済学部	[業務総括理事(旧代表理事代理)]
寺井 公子	慶應義塾大学経済学部	[会計担当兼研究会担当]
松原 聖	日本大学商学部	[総務(ホームページ担当)]
長瀬 毅	流通経済大学経済学部	[総務(ホームページ担当)]
安田 行宏	一橋大学大学院経営管理研究科	[総務(報告書作成担当)]
作道 真理	筑波大学システム情報系社会工学域	[総務(ニューズレター・名簿担当)]
小倉 義明	早稲田大学政治経済学術院	[財産管理運用担当]
祝迫 得夫	一橋大学経済研究所	[企画担当]
植田 健一	東京大学大学院経済学研究科	[渉外担当]

監事

浅古 泰史	早稲田大学政治経済学術院
石原 章史	東京大学社会科学研究所

（3）2020年度前半の理事会報告

2020年度第1回理事会は、2020年4月30日（木）17時00分～18時00分、一橋大学3階大会議室において開催され、理事監事はWeb会議システム（ZOOM）により参加しました。2019年度事業報告書及び2019年度会計報告書が承認されました。理事監事候補者の選定と推薦があり、承認されました。評議員会の決議書略のための提案書発送、並びに目的である事項が承認されました。代表権のない理事の呼称変更と関連規程が改定されました。また、二十一世紀文化学術財団の清算残余金の受入れ、及び、新型

コロナウイルス感染症の経済社会に与える影響に関する研究プロジェクト・リストの作成・公開について承認されました。最後に、報告事項として、本年度の事業の執行状況について説明がありました。

2020年度第2回理事会は書面にて行われ、代表理事・業務執行理事が新理事の中から選定されました。決議があったものとみなされた日は2020年5月28日（木）でした。

(4) 2020年度前半の評議員会報告

2020年度第1回評議員会は書面にて行われ、平成31年度事業報告書、及び平成31年度会計報告書が承認されました。また、理事監事が選任されました。決議があったものとみなされた日は2020年5月28日（木）でした。

(5) 所属先変更のご連絡のお願い

今年度中に所属先が変更になった方、新年度から変更になる方は、お手数をおかけしますが、TCER事務局 (tcer@mbs.sphere.ne.jp) までご連絡下さい。また、メールアドレスの変更を希望なされるフェローも同様に事務局までご連絡ください。

必要事項は、氏名（フリガナ）、所属先、所属先住所（郵便番号）、電話番号、メールアドレスとなります。

(6) 2020年度研究助成決定のお知らせ

2020年度研究助成では、審査の結果、3件のプロジェクトを採択、助成することとなりました。

2. コンファレンスご案内・報告

公1 国際的学術研究・交流事業

(1) 環太平洋地域研究交流事業（アジア危機コンファレンス）

今年度は実施せず、来年度に延期されました。

(2) TCER-NBER EASE31（第31回東アジアセミナー）

第31回東アジアセミナー（TCER, NBER、他共催）は、今年度は実施されず、2021年6月15日・16日の2日間に開催が予定されています。

(3) 日米欧研究交流事業（TCER・TRIO コンファレンス）

東京経済研究センター（TCER）は毎年、米国 NBER および欧州 CEPR と共催する形で、米国および欧州における著名な経済学研究者を東京に招いて現代社会のホットイシュー

一を報告・討論するコンファレンスを開催しています。2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響を勘案して開催しないこととなりましたが、2019年度は、「金融システム“Financial System”」をテーマに、金融を巡る新しい流れが金融システムに与える影響およびそれに関連した諸問題を議論しました。2019年度のコンファレンスには、欧米のトップクラスの研究者に加えて、日本国内の若手研究者、政策当局者、および実務家にも参加してもらい、学術的・実務的観点から最近の金融のホットイシューに関して理論的・実証的に議論を深めました。

金融システムの安定は、金融経済活動を円滑に行う上で欠くべからざるものであります。しかし、今日、グローバル化が進展する世界経済では、新たな金融革新が各国でさまざまな形で生まれ、金融経済活動に光と影をもたらしています。加えて、金融のさまざまな分野でフィンテックに代表される新しい技術革新が急速な勢いで生まれており、新たな環境のなかで金融システムの安定をいかに維持していくかに関しても、これまでとは異なる視点から学術的な議論が展開されることが期待されています。このため、日米欧の経済学者がそれぞれの視点から、金融を巡る新しい流れが金融システムに与える影響およびそれに関連した諸問題を議論したことは、大変意義深いものでした。

なお、報告論文のうち7本の論文が、レフェリーによる審査を経て、国際学術誌 *Journal of the Japanese and International Economies (JJIE)* に刊行または刊行予定となっています（現在の刊行状況は下記の通り）。これらの論文は、*Journal* の **Web** ページにある **Article collections** の“Financial System”でまとめて閲覧できます。

JJIE 刊行状況

掲載済の論文

- (1) Yoshiaki Ogura, Intensified lending competition and search-for-yield under prolonged monetary easing, June 2020, Page 101076
- (2) Arantxa Jarque, Edward Simpson Prescott, Banker compensation, relative performance, and bank risk, June 2020, Page 101077
- (3) Eugenio Cerutti, Carolina Osorio-Buitron, US vs. euro area: Who drives cross-border bank lending to EMs? September 2020, Page 101090
- (4) Kenichi Ueda, Somnath Sharma, Listing Advantages Around the World, In Press, Journal Pre-proof, Available online 20 June 2020, Page 101089
- (5) Joseph J. French, Ryosuke Fujitani, Yukihiro Yasuda, Does Stock Market Listing Impact Investment in Japan? In Press, Journal Pre-proof, Available online 15 July 2020, Page 101093

審査の最終段階の論文

- (1) Renée B. Adams, Trust in Finance: Values Matter

- (2) Ying Xu, Jenny Corbett, What a network measure can tell us about financial interconnectedness and output volatility

公2 学術研究交流促進事業

(1) ミクロ経済分析事業 (2020年度 DC コンファレンスとの共同開催) 報告

第26回DCコンファレンスは、2020年10月24日(土)にオンラインで開催される予定です。このコンファレンスでは、ミクロ経済学の理論的アプローチに関する論文を主たる対象に、一般均衡、ゲーム、社会的選択、メカニズム・デザイン、経済動学等の経済理論、国際経済、公共経済、労働経済、金融、産業組織、企業組織等の応用分野で理論モデルに基づく論文も対象にしています。プログラム委員は下記の通りです。詳細は下記URLをご覧ください。なお、報告論文の投稿は8月31日(月)が締め切りでした。

<http://www.dc.kier.kyoto-u.ac.jp/26thDCConference.html>

プログラム委員

菊地 和也 (法政大学・オーガナイザー)
篠原 隆介 (法政大学・オーガナイザー)
関口 格 (京都大学)
十河 丈晴 (SKEMA Business School)
橋本 和彦 (大阪経済大学)
平井 俊行 (法政大学・オーガナイザー)
宮川 敏治 (甲南大学)
渡邊 直樹 (慶應義塾大学)

(2) マクロ経済分析事業 (2020年度 TCER マクロコンファレンス) ご案内

第22回TCERマクロ・コンファレンスを今年の12月12日(土)、13日(日)に慶應義塾大学三田キャンパスにて開催することになりました。会場での対面による開催を目指しておりますが、新型コロナウイルスによる影響により、やむを得ないときはオンラインでの開催をも念頭においております。開催方式に関する最終的な判断は9月末を予定しております。

資金提供者は、

TCER (東京経済研究センター)、

大阪大学社会経済研究所 (共同利用・共同研究拠点「行動経済学拠点」)、

慶應義塾大学経済学部、

慶應義塾大学経済研究所、

東京大学金融教育研究センター、
一橋大学経済研究所経済社会リスク研究機構
であり、幹事は下記の通りです。

応募〆切：報告ご希望の方は4人のプロコミ委員に、報告希望の論文をメールの添付ファイルで10月15日（木曜日、日本時間）までにお送りいただきますようお願いいたします。フルペーパーの提出が望ましいですが、10ページ程度の要旨でもよいとします（ただし、4人のプロコミ委員および討論者宛にフルペーパーを11月27日（金曜日、日本時間）までに提出していただきますようお願いいたします。なお、開催方式の決定前に投稿するときは、オンサイトないしオンライン、いずれの開催でも対応できることを前提に応募してください。

希望討論者を2名ご推薦いただきますようお願いいたします。ただし、事前に本人の承諾を取っていただく必要はありません。

テーマは特に定めませんが、日本経済の直面する問題に答えようとするマクロの理論・実証研究を歓迎します。特に、新型コロナウイルスの感染拡大がマクロ経済に及ぼす影響をテーマとした研究を歓迎します。また選定においては、論文の質が同程度と判断される場合には、若手研究者・大学院生を優先します。

論文・プレゼン資料・報告は日本語でも英語でもよいものとします。ただ、オーディエンスには日本語で質問する権利を認める方針ですので、あらかじめご了承ください（我々のうちの誰かが必要に応じ翻訳します）。

採択の有無は11月15日頃までにお知らせいたします。なお、発表者・討論者・座長の旅費・宿泊費を当方で負担させていただきます。ただし、外国から参加される方は、旅費のお支払いはできない場合がありますが、あしからずご了承ください。

多数のご応募をお待ち申し上げておりますので、どうぞよろしくようお願いいたします。

プログラム委員（投稿論文の送付先）

塩路悦朗（一橋大学）

shioji@econ.hit-u.ac.jp

櫻川昌哉（慶応義塾大学）

masaya@econ.keio.ac.jp

敦賀貴之（大阪大学）

tsuruga@iser.osaka-u.ac.jp

渡辺努 (東京大学)

watanabe@e.u-tokyo.ac.jp

(4人全員に一斉送信の形でお送りください。)

代表：植杉威一郎 (一橋大学)、櫻川昌哉 (慶応義塾大学)、敦賀貴之 (大阪大学)、渡辺努 (東京大学)

運営委員：白塚重典、藤原一平、廣瀬康生 (以上、慶応義塾大学)

(3) TCER 定例研究会 (2020 年度 TCER 研究会) 報告

2020 年度の TCER 研究会は慶応義塾大学にて行われています。フェローの方はいつでも参加できます。今年度前半は以下の通り開催されました。

ミクロ経済学ワークショップ

2020 年 5 月 8 日 (金) 14:45~16:15

友枝健太郎 (シドニー工科大学)

“Sophistication and Cautiousness in College Applications”

2020 年 5 月 15 日 (金) 14:45~16:15

佐藤伸 (福岡大学)

“On evaluationwise strategy-proofness of social choice correspondences” joint with Remzi Sanver

2020 年 5 月 22 日 (金) 14:45~16:15

Maria Martin Rodriguez (名古屋大学)

“Stable Research Networks with Bargaining and Heterogeneous Costs” joint with Erik Darpö and Alvaro Domínguez

2020 年 5 月 29 日 (金) 14:45~16:15

石原章史 (東京大学)

“Delegation and Strategic Silence” joint with Shintaro Miura

2020 年 6 月 5 日 (金) 14:45~16:15

松島齊 (東京大学)

“Mechanism Design with Blockchain Enforcement” joint with Shunya Noda

2020 年 6 月 12 日 (金) 14:45~16:15

宇井貴志 (一橋大学)

“Incomplete Information Robustness” joint with Stephen Morris

2020 年 6 月 19 日 (金) 14:45~16:15

Simona Fabrizi (University of Auckland)

“Consumer Decision-making under Uncertainty on Digital Platforms” joint with Yen Ling Tan
2020年6月26日(金) 14:45~16:15

Steffen Lippert (University of Aukland)

“Experimentation and Entry with Common Values” joint with Francis Bloch and Simona Fabrizi

2020年7月10日(金) 14:45~16:15

阿部貴晃(早稲田大学)

“Buck-passing Dumping in a Pure Exchange Game of Bads”

マクロ経済学ワークショップ

2020年度春学期は、例年と異なり、大学院生の発表を中心に運営されました。

計量経済学ワークショップ

2020年5月28日(木) 18:00~19:30

猪狩良介(法政大学)

“A Data Fusion Approach for Interpurchase Timing Models Using Incomplete Purchase Histories”

2020年6月2日(火) 16:30~18:00

城田慎一郎(明治大学)

「空間点過程モデリングの最近の展開」

2020年6月23日(火) 16:30~18:00

中妻照雄(慶應義塾大学)

“Ancillarity-Sufficiency Interweaving Strategy (ASIS) and Its Applications in Bayesian MCMC Computation”

2020年6月30日(火) 16:30~18:00

高梨耕作(理化学研究所)

“Minimax Predictive Densities of Dynamic Linear Model under Kullback-Leibler Loss”

2020年7月7日(火) 16:30~18:00

Gregor Weiss(ライプツィヒ大学)

“Estimating Implied Volatilities Via Machine Learning And The Cross-Section Of Option Returns”

2020年7月14日(火) 16:30~18:00

栗栖大輔(東京工業大学)

「確率場に対する高次元正規近似」

2020年7月21日(火) 16:30~18:00

マクリン謙一郎(テンブル大学)

“Bayesian updating rules for entry and exit of forecast”

応用経済学ワークショップ

2020年5月1日(金) 16:30~18:00

大垣昌夫(慶應義塾大学)

“Introducing virtue ethics into normative economics for models with endogenous preferences”

joint with Vipul Bhatt

2020年5月8日(金) 16:30~18:00

Charles Crabtree(東京財団政策研究所)

“A Nationalist Backlash to International Refugee Law: Evidence from a Survey Experiment in Turkey” joint with Kevin L. Cope

2020年5月15日(金) 16:30~18:00

白塚重典(慶應義塾大学)

“A New Framework for Monetary Policy in the Post COVID-19 Era”

2020年5月22日(金) 16:30~18:00

小西祥文(慶應義塾大学)

“Do Regulatory Loopholes Distort Technical Change? Evidence from New Vehicle Launches under the Japanese Fuel Economy Regulation”

2020年5月29日(金) 16:30~18:00

Charles Leung(City University of Hong Kong)

“Do Elite Colleges Matter? The Impact of Elite College Attendance on Entrepreneurship Decisions and Career Dynamics” joint with Naijia Guo

2020年6月5日(金) 16:30~18:00

中川雅之(日本大学)

所有者不明土地問題と登記制度」

2020年6月12日(金) 16:30~18:00

赤林英夫(慶應義塾大学)

“The Determinants of Trust Game Outcomes for Children” joint with Teruyuki Tamura, Natsumi Shimada, Ryosuke Nakamura, and Shun Ikemoto

2020年6月19日(金) 16:30~18:00

Costanza Biavaschi(Norwegian University of Science and Technology)

“Localized social networks and long-term political participation” joint with Y. Zenou and C. Giuliatti

2020年6月26日(金) 16:30~18:00

小川一夫(関西外国語大学)

“Real Estate Market and Consumption: Macro and Micro Evidence of Japan”

2020年7月3日(金) 16:30~18:00

Christoph Kuzmics(Karl Franzens Universität Graz)

“Comparing Theories of One-Shot Play Out of Treatment” joint work with Philipp Külpmann

2020年7月10日(金) 16:30~18:00

山田克宣(近畿大学)

“Social Comparisons and Cooperation During COVID-19”

2020年7月17日(金) 16:30~18:00

田中万理(一橋大学)

“Small Business under the COVID-19 Crisis: Expected Short- and Medium-Run Effects of Anti-Contagion and Economic Policies” joint with Kohei Kawaguchi and Naomi Kodama

特別ワークショップ

開催せず。

編集後記

残暑が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。2020年度1号目のニューズレターをお送りいたします。お忙しい中、ご執筆下さった理事やコンファレンス主催者の方々に感謝申し上げます。今年度もTCERをどうぞよろしく願いいたします。

Newsletterに関するご意見やご感想は代表理事 小林慶一郎 keiichirokbys@gmail.com
または総務理事 作道真理 sakudo@sk.tsukuba.ac.jp までご連絡下さい。

=====
公益財団法人 東京経済研究センター
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-7-10 山京ビル本館 703号室
Tel & Fax 03-3239-2524 Email: tcer@mbs.sphere.ne.jp